

大学発イノベーション分科会セッション

◆ データサイエンス・AI 研究と知財 ～データの利用と保護の諸相～ ◆

【オーガナイザー・講演者】

<オーガナイザー>

岡野恵子氏 (横浜市立大学研究・産学連携推進センター URA部門 特任講師)

<講演者>

駒谷 剛志 氏 (山本特許法律事務所 弁理士)

「医療ビッグデータと知的財産」

下山 紗代子 氏 (一般社団法人リンクデータ 代表理事)

「地方公共団体におけるオープンデータ活用」

山本 俊太郎 氏 (国立研究開発法人 情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 企画室 マネージャー)

「アカデミアにおける AI データマネジメント」

【概要】

データサイエンスおよび AI に関する技術は、情報工学分野の研究だけではなく、あらゆる先端科学技術分野に影響を与える基盤技術であり、グローバルレベルでの熾烈な競争に打ち勝つべく、国家レベルで戦略の構築および実践を協力に推し進めている (参照: 内閣府「統合イノベーション戦略 2019」)。一方で GAFA (Google, Apple, Facebook, Amazon) などビックデータを独占するプラットフォームが、産業だけではなく市民生活までもにも影響力を持つ現在、利益の帰属やプライバシーの保護などにおいて、企業、政府、市民との間にできた軋轢が顕在化してきていることは周知のとおりである。また医療ビックデータを活用したビジネスも注目され、産学連携によるプロジェクトも展開されているが、大学をはじめとした研究機関側において最新の法制度やプライバシー保護のあり方まで考慮したデータ・マネジメントについては議論がはじまったばかりである。

上記の現状認識に基づき、これまで大学発イノベーション分科会は狭い意味での知財に限定されず、個人情報保護に関する法律やガイドラインや倫理に関するテーマを取り上げてきた。これらの活動を踏まえ、今回、データの利活用と保護について「DFF T (Data Free Flow with Trust)」をテーマに参加者と考えていく。分野によって、またそれぞれの立場によってデータの使われ方はさまざまである、産・官・学で、「データ取扱いについて、共有する倫理的基盤はあるのか?」という問いは、データの利活用と保護に取り組むうえで避けることはできない。

イノベーション創出や SDGs などの地球規模の課題解決に科学技術、およびそれらを生み出す場としての大学が深く関与している中、技術の独創性や新規性などの観点からだけで研究をすることはできず、社会の様々なプレイヤーとの対話や制度への対応をふまえた研究および事業展開が求められている。本セッションはデータに関する研究やビジネスに関心がある方はもちろん、研究と産業、社会との関係に関心がある方にも積極的に参加していただきたい。

大学発イノベーション分科会セッション

◆ データサイエンス・AI 研究と知財 ～データの利用と保護の諸相～ ◆

【略歴】

オーガナイザー

岡野恵子氏 横浜市立大学 研究・産学連携推進センター URA部門 特任講師
東京大学卒業（修士課程まで応用生命化学専攻に所属）

平成21年12月 カリフォルニア大学バークレー校でPhD取得

平成23年4月～ 明治大学にて科研費申請書作成支援業務を専門に担当

平成25年1月～ 京都大学にて部局URAとして研究者の支援業務に従事

平成27年4月～ 横浜市立大学URA推進室特任助教（28年からは特任講師）として、競争的資金獲得支援などプレアワード支援を中心に、契約、コンプライアンス対応、研究広報など幅広く研究支援の業務

平成31年4月より現職

講演者

駒谷 剛志 氏（山本特許法律事務所 弁理士）

1992年 東京大学薬学部製薬化学科

1994年 東京大学大学院薬学系研究科修士課程

1994年 スイス F. Hoffmann-La Roche, Ltd.

1998年 東京大学大学院薬学系研究科博士後期課程（博士（薬学））

1998年 山本特許法律事務所入所（2000年 弁理士登

2012年 国際知的財産保護協会（AIPPI）特別委員会 委員（vice chair）

下山 紗代子 氏（一般社団法人リンクデータ 代表理事）

2010年4月バイオインフォマティクス系ベンチャーに就職し、LIMS（ラボ情報管理システム）、ゲノムデータ解析手法の開発に従事2012年10月理化学研究所に着任、生命科学統合データベース構築事業に参画し、データ公開支援システムを開発2014年10月一般社団法人リンクデータを設立、オープンデータ支援プラットフォーム LinkData.org を運用し、自治体や市民の地域情報発信を支援2017年6月ミーカンパニー株式会社にデータスチュワードとして着任。2018年9月インフォ・ラウンジ株式会社の取締役就任。

山本 俊太郎 氏（国立研究開発法人 情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 企画室 マネージャー）

2005年、民間企業（通信系商社）から国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）に転職。イノベーション推進部門 知財活用推進室にて知財法務や技術移転コーディネータ（担当分野：ナノ ICT・脳科学・AI 等）に従事した後、2018年からサイバーセキュリティ研究所 企画室 マネージャー（現職）。2019年からオープンイノベーション推進特別プロジェクトチームのチームリーダーを兼務。1級知的財産管理技能士。大学技術移転協議会（UNITT）ネットワーク委員。